

## SIMPLE RAZOR

Numéro de publication: JP2000279224

Date de publication: 2000-10-10

Inventeur: MIZUSHIMA HIROSHI; YAMANAKA NOBUO

Demandeur: YOSHINO KOGYOSHO CO LTD

Classification:

- internationale

A45D27/24; B26B21/04; B26B21/52; A45D27/00;  
B26B21/00; (IPC1-7): A45D27/24; B26B21/04;  
B26B21/52

- européenne

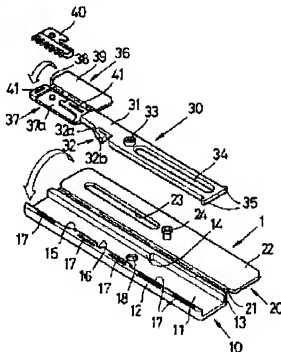
Numéro de demande JP19990092496 19990331

Numéro(s) de priorité: JP19990092496 19990331

Signaler une erreur concernant les données

Abrégé pour JP2000279224

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To improve safety by shortening the length of a razor more during its nonuse compared with that during its use. **SOLUTION:** A simple razor is provided with a cylindrical pattern member 1 rectangular in cross section in a front end surface opening long in a back and forth direction, and a member 30 with a cutter having a sliding plate 31 housed in the pattern member to be freely pulled out from the front end opening surface, the cutter tip thereof being exposed from one of the left and right side faces of the front part of the sliding plate. A guiding oblong hole 23 is bored in a back and forth direction in the front half of a pattern member top board 22, a guide 33 is protruded from the middle upper surface of the sliding plate 31 so as to freely slide in the guiding oblong hole 23 with its upper end part exposed, an engaging groove 16 is formed in one inner surface of the middle part of the left and right side plates of the pattern member, and when the guide 33 is positioned in the rear end of the guiding oblong hole 23, an elastic finger piece 32 with a catch elastically fitted in the engaging groove 16 is protruded so as to be pulled out by the forcible advancing of the guide 33 from the side face of the sliding plate 31.



Les données sont fournies par la banque de données esp@cenet - Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

## (12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号  
特開2000-279224  
(P2000-279224A)

(43) 公開日 平成12年10月10日 (2000. 10. 10)

(51) Int.Cl. <sup>7</sup>	識別記号	F I	データベース* (参考)
A 4 5 D 27/24		A 4 5 D 27/24	
B 2 6 B 21/04		B 2 6 B 21/04	Z
21/52		21/52	A

審査請求 未請求 請求項の数 1 O L (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平11-92496

(22) 出願日 平成11年3月31日 (1999. 3. 31)

(71) 出願人 000008909

株式会社吉野工業所  
東京都江東区大島3丁目2番6号

(72) 発明者 水嶋 博

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉  
野工業所内

(72) 発明者 山中 伸夫

東京都江東区大島3の2の6 株式会社吉  
野工業所内

(74) 代理人 100068157

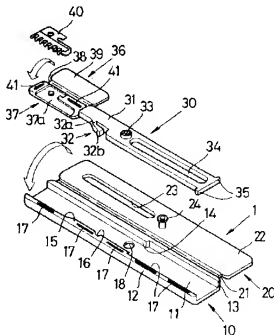
弁理士 今岡 良夫 (外1名)

## (54) 【発明の名称】 簡易カミソリ

## (57) 【要約】

【課題】 カミソリの不使用時の長さを使用時に比べて短くし、かつ安全性の向上を図る。

【解決手段】 横断面長方形状で、前後方向へ長く設けた前端面開口に筒状をなす柄部材1と、該柄部材内へ収納されて前端開口面から前部の出入りが自在に設けた摺動板31を有し、摺動板31の前後方向へ長く設けた刃先を露出する刃付き部材30とからなり、柄部材頂板22の前半部へ案内長孔23を前後方向へ穿設し、摺動板31中間部上面からは、上端部を露出させて案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出し、柄部材左右側板の中間部の一方内面に係合溝16を穿設する共に、案内子33が案内長孔23後端に位置したとき、係合溝16内へ弾性嵌合する爪付きの弾性指片32を、摺動板31の側面から案内子33の強制前進によって突出し可能に突出させた。



## 【特許請求の範囲】

【請求項1】左右方向断面は横長の長方形状で、前後方向へ長く設けた前端面開口の両状をなす柄部材1と、該柄部材1内へ収納されて上記前端面開口から前部の出入が自在に設けた摺動板31を有し、該摺動板31の前部の左右両面的一方から刃先を露出する刃付き部材30とからなり、

上記柄部材1頂板22の前半部へ案内長孔23を前後方向へ穿設し、

上記摺動板31中間部上面からは、上端部を露出させて案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出し、

上記柄部材1左右側板の中間部的一方内面に係合溝16を穿設する共に、案内子33が案内長孔23後端に位置したとき、上記係合溝16内へ弾性嵌合する爪付きの弾性指片32を、上記摺動板31の側面から案内子33の強制前進によって抜出し可能に突出させたことを特徴とする簡易カミソリ。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は筒状の柄部材に刃付き部材を収納した簡易カミソリに関する。

## 【0002】

【従来の技術】眉毛のトリミング等に使用するカミソリとして、柄の先端に刃を有し、不使用時に、紙や合成樹脂からなるキャップをかぶせるものが知られている。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】この種のカミソリは化粧品と共にバッグ等に収納して持ち運ぶことが多いが、従来のカミソリは単に刃にキャップをかぶせているに過ぎず、使用時と不使用時とは長さが変わらないため、特にバッグが小さい物では収納に多少の不便があった。また、キャップの取付けを要しない場合には、バッグ内で、或いは子供の不注意な取扱いによりキャップが外れるおそれがあり安全性において必ずしも十分なものとはいえなかった。

【0004】本発明は刃付き部材を柄部材1内へ収納させることにより、使用時に比べて長さを短くし、かつ安全性の向上を図ろうとするものである。

## 【0005】

【課題を解決するための手段】第1の手段として、横断面長方形状で、前後方向へ長く設けた前端面開口に筒状をなす柄部材1と、該柄部材1内へ収納されて上記前端面開口から前部の出入が自在に設けた摺動板31を有し、該摺動板31の前部の左右両面的一方から刃先を露出する刃付き部材30とからなり、上記柄部材1頂板22の前半部へ案内長孔23を前後方向へ穿設し、上記摺動板31中間部上面からは、上端部を露出させて案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出し、上記柄部材1左右側板の中間部的一方内面に係合溝16を穿設する共に、案内子33が案内長孔23後端に位置したとき、上記係合溝16

6内へ弾性嵌合する爪付きの弾性指片32を、上記摺動板31の側面から案内子33の強制前進によって抜出し可能に突出させた。

## 【0006】

【発明の実施の形態】以下、本発明に係る簡易カミソリの実施の形態を図面を参照しながら説明する。1は柄部材で、本体部10と、該本体部10上面を開塞させる頂板部20とからなる。本体部10は、前後方向へ長い底板11の左右両側縁から側板12、13を起立してコ字状板を形成し、該コ字状板の右側板13内面の前半部に前後方向への第1係合突条14を、かつ左側板12内面の前後方向中間部に前後方向への第2係合突条15を、それぞれ形成すると共に、該第2係合突条15の前後方向中間部に係合溝16を形成する。該係合溝16の左右両側面は左右方向外方へ並列させて傾斜面に形成する。また、第2係合突条15の前端部は、後述の爪付きの弾性指片32が乗上げ可能なように前方へ傾斜させる。

【0007】なお、左側板12の上面に複数の接着用突条17を形成する。また、第1係合突条14と第2係合突条15との両後端面はコ字状板の前端面から同一の距離に位置する。さらに、第1係合突条14と第2係合突条15との両後端面間の底板11部分に連孔18を穿設する。

【0008】20は頂板部で、本体部10の右側板13上端から薄肉ヒンジ21を介して頂板22を突設し、該頂板22の前半部へ第1の案内長孔23を前後方向へ穿設する。また、該案内長孔23後方頂板22部分下面から外向きフランジ付きの嵌合筒24を垂下し、該嵌合筒は後述の第2の案内長孔34を挿通させて連孔18内へ嵌合させることにより外向きフランジを底板11下面へ係合させる。さらに、頂板22の左側縁を接着用突条17が形成された面を頂板22上面へ超音波溶接で接着させる。

【0009】30は刃付き部材で、柄部材1内へ前後方向に摺動自在に嵌合させた摺動板31の前方向中間部左側縁を、次述の爪付きの弾性指片32を飛して切断する。該弾性指片は切断部の左側面から後斜の外方へ延びる第1指片部32a後端から第2指片部を後方突設して、該第2指片部の後方左側面から爪32bを外方へ突設し、かつこの爪の前端面を後方へ傾斜させて第1の係合溝16へ係合させる。

【0010】また、爪付きの弾性指片32より後方摺動板31部分上面から、上端部を露出させて第1の案内長孔23内へ摺動自在に案内子33を突出する。さらに、摺動板31の後半部に前後方向への第2の案内長孔34を穿設して、該案内長孔16へ嵌合筒24を摺動自在に挿通させる。案内長孔34へ挿通させた嵌合筒24は、前述のように連孔18内へ嵌合させてその下端を底板11下面へ係合させる。さらに、摺動板31後端の左右両部から、第1係合突条14と第2係合突条15とのそれぞれの後端面へ係合自在な係合突起35を外方外方へ突

設する。

【0011】揺動板31の前部は、柄部材1の前端開口面から出入自在に設けられ、かつ該前部左側面から刃先を露出する刃部36を形成する。この刃部36は、揺動板31の後部前端から前方突設する長方形の刃底合板37と、該刃底合板の右側縁から薄肉ヒンジ38を介して突設する長方形の押え板39と、これら刃底合板37と押え板39とで挟持される刃40とを有する。

【0012】刃底合板37は左側面開放の凹部37aを有し、該凹部内へ刃40を抜き出し不能に底合させると共に、刃先を凹部37aの左側面から外方へ突出させ、かつ刃底合板37の前後両部上面に接着用突条41を形成し、さらに、押え板39で凹部37a上端面を閉塞させて該押え板を超音波溶接で、接着用突条41が形成された刃底合板37部分へ接着させる。

【0013】次に本実施形態の作用について説明する。図2は揺動板31が柄部材1内へ収納された不使用の状態を示すもので、この状態では爪付き弾性指片32の爪32bが係合溝16内へ係合しているため、揺動板31が刃部材1内から前方へ抜け出すことはない。揺動板31を前方へ移動させて刃部36を柄部材1から突出させるには、第1の案内長孔23の後端に位置する案内子33を前方へ押せばよく、すると爪付き弾性指片32が内方へ弾性変形して、爪32bが係合溝16から離脱するため揺動板31の前方移動が可能になる。

【0014】図3に示すように、案内子33が第1の案内長孔23の前端に達した時点で、刃部36は柄部材1前端から前方へ突出し、爪付き弾性指片の爪32bは柄部材1の左側板12前端面へ係合し、第2の案内長孔34後端は嵌合筒24へ当接し、かつ揺動板31後端の係合突起35は第1及び第2係合突条14、15の後端面へ係合しているため揺動板31は固定状態を保持する。したがって、柄部材1を持って眉毛をトリミングすることが可能になる。

【0015】刃部36を柄部材1内へ収納するには、爪付き弾性指片32を内方へ弾性変形させることにより爪32bを刃部材1の左側板12前端面から内方へ離脱させて案内子33を後方へ引くことにより揺動板31を後方移動させる。すると爪付き弾性指片32が内方へ弾性変形して第2係合突条15へ乗り上げ、さらに後方移動すると爪付き弾性指片32が外方へ弾性変形して爪32bが係合溝16内へ係合する。この状態において案内子33は第1の案内長孔23後端に位置している。

【0016】なお、嵌合筒24を第2の案内長孔34へ揺動自在に挿通させているため、仮に揺動板31と第1及び第2係合突条14、15との間に、精度上の誤差により隙間が生じていても揺動板31の揺動時や眉毛のトリミング時において揺動板31が左右方向へ傾動することがなく、従って、揺動板31の揺動や眉毛のトリミングが円滑に行える。

【0017】

【発明の効果】以上説明したように、本発明は、不使用時は刃付き部材を柄部材内へ収納させるため、使用時に比べて長さが短く、従って、バック内への収納が便利である。また、刃付き部材の収納状態において、同時に刃も柄部材内へ収納されているため安全性に優れている。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係る簡易カミソリの分解斜視図。

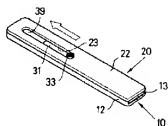
【図2】同じく、刃付き部材の収納状態を示す斜視図。

【図3】同じく、使用状態を示す斜視図。

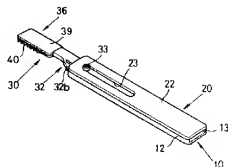
【符号の説明】

- 1 柄部材
- 16 係合溝
- 22 頂板
- 23 案内長孔
- 31 揺動板
- 33 案内子

【図2】



【図3】



【図1】

